

cellular line セルラーライン

interphone F4 インターフォン エフフォー

価格：3万2800円（シングルパック）／6万2800円（ツインパック）

●問い合わせ先：トーヨー産業
☎03-6303-0030 <http://www.tysitd.com>

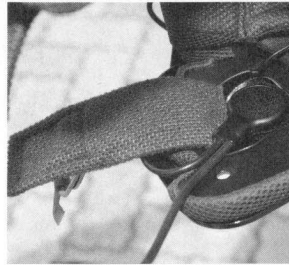
完全新設計で機能も
使いやすいさも劇的向上



インターコム性能は文句なし。高速道路や見通しのいい直線道路では500m近くまで届く。通話品質は自然で明瞭だ。



→スイッチのオン・オフや、接続機器の切り替えはマルチファンクションボタンを押すだけ。スピーカーから信号音が出るので確実に操作できる。



↑スピーカーはヘルメットのイヤホール部にベルクロで固定。径が小さくて薄いので、どんなヘルメットにも無理なく装着可能。



↑本体の取り付けベースはヘルメットに直接張り付けるタイプと、帽体の淵にクランプするタイプの2種類が同梱されている。

1 走行中の通話が高音質に！

A2 DP1に対応し、音楽を高音質ステレオサウンドで聴ける。インターコムや携帯電話での通話品質も大きく向上。

GOOD

2 複数のBluetooth機器を切り替えて使用可能！

マルチポイント接続で、複数のBT機器をシームレスに切り替えて使用できる。インターコム通話+BG+携帯電話といった使い方が可能。

GOOD

3 長距離通話も電池の持ちも、さらに向上！

インターコム性能がさらに高まり、渋滞した市街地でも150m以上、高速道路なら500m近く届いた。加えて電池の持ちも約2倍。

GOOD

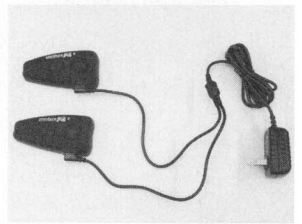
本体サイズのコンパクト化を！

本体のデザインの変更で厚さが減って風切り音も少なくなったが、それでもまだ大きい。電池性能が向上すればもっと小さく薄くできるんだろうけど。

こうなれば最高！



↑ギャザズM（ZUMO550も同じ）に接続すれば音声ガイドをワイヤレスで聴ける。ナビユーザーに便利な機能だ。



↑1台の充電器で本体2台を同時に充電できる。食事の間などに継ぎ足し充電すれば電池切れの心配なし。

直にオススメです。

インターコム使用時の到達限界距離は250mと既存モデルより少し伸びた程度だが、見通しのいい直線道路では約500m離れても通話できたとし、高層ビルに囲まれた渋滞路でも確実に150m以上届く。さらに電池の持ちも格段に伸び、最も電力消費が多いインターコム通話の場合、カタログ値ではなく実際の使用条件下で約12時間使えた。

決して低価格ではないけれど、ここまで機能が向上していれば納得、素直にオススメです。

まず感じたのが音質の劇的な向上。単にステレオスピーカーになっただけでなく、A2 DP1に対応したことで音楽プレーヤーとの接続を意識したオーディオ仕様の音になった。風切り音の低減機能も強化され、電話やインカムでの通話品質も格段に高まっている。

またひとつの注目点が3種類のBT機器を接続し、状況に応じて切り替えて使えるマルチポイント接続。先月号で紹介したヒーロムのSB213と同様の機能で、例えば音楽を聴いているときに携帯電話に着信があれば本体のボタンを押すだけで通話状態に切り替わるし、クルーディング中は音楽を聴き、市街地ではインターコムに切り替えて道案内、といった使い方もできる。

昨年からのBluetoothウース（以下BT）接続のヘッドセットが注目を集めている。走行中でも携帯電話の発信音ができるうえに、音楽やナビの音声ガイドを聴くことも可能。2セット用意すれば電話感覚で会話もできる。従来のライティングスタイルを変える革新的アイテムといっても過言ではないのだ。僕自身もインターフォンを約2年間使っているだけに、完全新設計のF4がどう変わったのが、現実的な環境下でじっくり試してみた。

聴きやすさ倍増！